

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	金蘭会高等学校 全日制の課程 II類（看護進学コース・特別進学コース） （平成 28 年度の新入生から対象とする）
取り組む課題	英語教育の充実
評価指標	・英検 2 級以上の合格者の割合の向上 ・GTEC for Students（スピーキングあり）における Grade 5 以上の生徒の割合の向上
計画名	トビタテ、金蘭 Ladies!

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成（授業が自慢の金蘭づくり） (3)生徒が興味関心を持ち、自主的に取り組める学習 ICTの活用や中学の「7つの習慣J」、高校での「教養講座」など、指導方法の工夫改善を行う ※保護者アンケートで、生徒の興味関心を深め、学習意欲を高める取組みをしている、の肯定回答を H28 には 95%にする。(H25 : 85%)</p>
事業目標	<p>英語力の強化を図り、3年間でII類での英検2級以上の合格者の割合を30%以上（現高校3年生は9%）、準2級以上の合格者の割合を70%以上（現高校3年生は19%）にする。そのためにはICTを積極的に活用し、生徒の意欲的な学習態度を育てる必要がある。「スタディサプリ ENGLISH(リクルート)」などを活用し、「一人ひとりの弱点を洗い出し、基礎を固め」、「聞き取れない原因を診断、解決」、そして「家庭学習でも話す力、聴く力を育成」することにより、英語の4技能の伸長を図る。またそのために一人ひとりの学習状況を把握し、適確な指導を行う。更に国際理解教育、キャリア教育、語学研修、留学を通し、「自分も社会に貢献する」「社会に貢献するには英語が不可欠」という認識を生徒の中に定着させ、英語学習への動機づけとする。これらの取組みにより積極的かつ主体的に英語学習に取り組む環境を作り成果を出し、I類(他コース)へも広げていく。</p>
整備した 設備・物品	iPad mini 16GB 75台、タブレット収納保管庫2台、iPad管理用にMac Book air 1台
取組みの 主担・実施者	<p>主 担： 英語力向上推進チーム 取組みの実施者： 英語科の教員全員</p>
本年度の 取組内容	<p>GTEC 全員受験（7月）させ結果は、Grade 4 以上が 55%だった。(H28 : 7.5%・H29 : 47%) 4月から英語の授業と放課後の錬成授業でiPadを使用した。 英検対策（スタディサプリ・スタディギアの活用、対策授業、対策宿題など）、英検希望者受験（6月、10月） GTEC と英検の可否の分析と情報共有（7月）。 英語科チームによる英検対策及びICT活用状況に対する評価、受験対策。 事業の総括（3月）</p>

成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 3年め 英検準2級以上の合格者を70%以上、2級以上の合格者を30%にする。 ② GTEC for Students のGrade5以上の生徒を50%以上にする。
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ① 高校3年生Ⅱ類在籍は60名。高校3年生ということもあり、受験科目への取組みに生徒の意識も向いており、英検は希望者が6月・10月に受験した。 2級合格者：10名(保持率17%) …………… (△) 準2級合格者：29名(保持率48%)、準2級以上保持者：65%…………… (△) ② GTEC for Students のGrade5以上の生徒割合は14%…………… (△) GTEC for Students のGrade4以上の生徒割合は55%だった。(H28：7.5%・H29：47%) ※iPad 使用に関しては、授業での使用については特段問題がなく、今年度は生徒アンケートを実施しなかった。
事業のまとめ	<p>生徒の英語力の向上を図る目的でその評価指標に英語検定の上位級合格と GTEC for Student を使った。この事業を始める前の英検保持者の割合(英検2級9%、準2級以上19%)と比べると2級17%、準2級以上65%と当初の目標には届かなかったものの、保持者の割合は大きく向上した。</p> <p>また、この学年のこの事業から、英検受験を学校全体で取り組むようになり、年3回の学校での実施、事前の級別学習会などが行われた。1年間に1回以上全員が受験する体制となり、上位級合格者数は増えつつある。併設中学でも、中学2年生、中学3年生で2級合格者が出てきた。</p> <p>GTEC for Student に関しては、当初の目標に届かなかった。その理由は、各技能の成績に偏りが生じたことが挙げられる。Listening は iPad などの活用で成果が上がっていたが、それ以外の分野は授業等で十分な時間がとれず、点数向上につながりにくかった。各自の目標点の設定等をしなかったことも一因と考えられる。</p> <p>高校3年生になると大学受験への意識が強くなり、英検を受検する生徒の割合が減ってしまったことは、今後の課題である。英検と大学入試科目との関係が明確になれば、取り組みやすくなるであろう。また、高校2年を終了するまでにできるだけ上位級を取得する指導も必要となろう。</p> <p>今回、iPad を活用したことがきっかけとなって各学年へ一人1台の iPad を導入する取組みが進んだ。この事業は本校の ICT 教育充実に大きな影響を与えたといえる。</p>